



ペンギンの数は減っている？

世界にいるペンギン 18 種のうち、10 種が絶滅危惧種、3 種が準絶滅危惧種として「レッドリスト（絶滅の恐れのある野生生物のリスト）」に記載されています。特に絶滅の危険があるのは、人間が近くに住んでいる、南極以外の地域に生息するペンギンです。赤道直下に生息するガラパゴスペンギンは現在 1,200 羽しかおらず、絶滅が最も心配される種類です。



最も数が多い種類はマカロニペンギン。南極の周りの海に 630 万つがいが生息しています。左の写真の群れには 3 万つがいます。たくさんいるように見えますが、1970 年代に比べて 3 割も減っており、減少速度が速いと心配されています。

マカロニペンギンの大営巣地

ペンギンの数の変化を知るためには、数を数える地道な調査を何年も続ける必要があります。日本の南極地域観測隊でも、昭和基地近くのアデリーペンギンの数を 50 年近く調べ続けています。



昭和基地近くの営巣地でペンギンの数を数える隊員



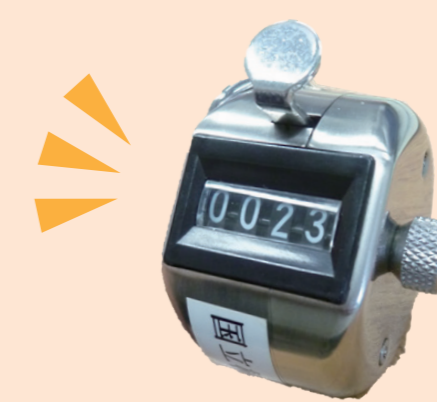
こぼればなし



ペンギンの数は、カウンターを使用して数えます。

動き回るペンギンもいて大変！

写真に撮って数える方法もありますが、いずれにしる根気のいる作業です。



▲カウンター